

清流 5月

発行：浜松市下阿多古ふれあいセンター 編集協力：下阿多古ふれあいセンター活動推進委員会
〒431-3427 浜松市天竜区上野172番地の3 TEL 053-926-3141

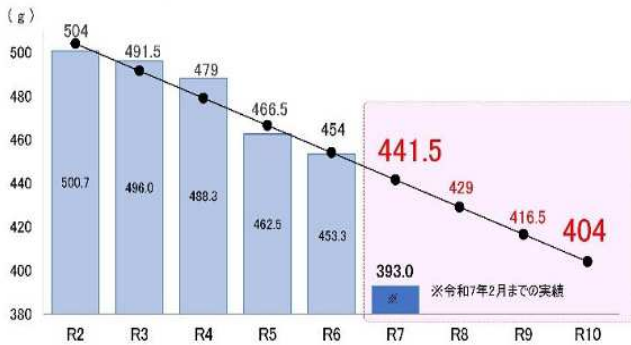
	世帯数	前月比	人口	前月比
浜松市	358,438	440	781,011	-1,673
天竜区	11,741	-11	24,616	-94
下阿多古	1,266	2	2,377	-2

詳細は [浜松市統計](#) [検索](#)

家庭系ごみ排出量の目標・実績値

<一人1日当たりのごみの量(暦年/年度別)>

■ 実績値(暦年) ● 目標値(年度別)



ごみ減量

皆様の取組のおかげで、左のとおり令和6年は、家庭系ごみ排出量の目標値を下回ることができました。

家庭から出る燃えるごみは、「生ごみ」と「紙類」が半分以上を占めており、皆様にもごみ減量のため、資源物を分けて出していただくようお願いしています。

下阿多古ふれあいセンターでは、「使用済てんぷら油」と「雑がみ」を集めています。これからもごみ減量の取組にご協力をお願いします。



「天竜手すき和紙工房」を訪問しました。

阿多古川流域は、和紙の原料となる楮(こうぞ)や三桠(みつまた)の産地で、江戸時代から昭和初期にかけて「阿多古和紙」として多くの生産をしてきました。下阿多古にも5~6軒の紙すき屋があり、主に障子紙や大福帳に使用する紙を生産していたそうです。近年は、令和7年1月20日にお亡くなりになった大城忠治さん(上阿多古)が「阿多古和紙」の第1人者であり、大城さんのところには、幅広い分野の方々が来訪されていました。田中康彦さんと奥野舞さんもそのお一人です。



田中さんは、両島にお住まいで、10年程前、ご友人からNPO法人元氣里山の仕事を手伝ってほしいと依頼され「阿多古和紙」に関わることになりました。それから、大城さんの所に足を運び、紙すきを学ばれ、今後は自分が紙すきを守っていこうと、平成30年3月、両島に「天竜手すき和紙工房」を構え、紙すきを始めました。



今は、大人から子供までみんなが紙すきができるように、紙すき器の改良に取り組んでいます。

奥野さんは、絵画作家です。

大城さんの和紙との出会いが、奥野さんが和紙に絵を描くことのきっかけとなりました。

「身近な植物の繊維を使い、均一でない厚みや肌触りが特徴で描くのが大変難しく、紙と対話するように描いていった。」と話して下さいました。その難しさに魅力を感じ、完成したのが右下写真の作品です。

奥野さんは、田中さんから「天竜手すき和紙工房」の継承を託されており、自身の作品製作の傍ら、楮、三桠の採取から始める手すき和紙の体験工房を準備中とのことでした。

大城さん、田中さんを師匠と仰ぎ、「天竜手すき和紙工房とともに、お二人の精神を継承していきたい。」といきいきとした笑顔で語って下さいました。



令和7年度生きがいづくり教室

レッツ！レクダンス

- 【日 時】 令和7年6月9日(月) 午前9時～11時
- 【会 場】 下阿多古ふれあいセンター きずな館 ホール
- 【講 師】 松本 和子先生
- 【持 ち 物】 上靴、飲み物、汗拭きタオル
- 【定 員】 30名(先着順)
- 【受 講 料】 無料
- 【申込期間】 令和7年5月7日(水)～5月30日(金)
- 【申 込 先】 下阿多古ふれあいセンター ☎926-3141

楽しみながら
脚も脳も
鍛えられます

受講生募集



令和6年10月7日 撮影

『しもあたごむかし話』④ 百体観音さま(石神 上石神)

天保のむかし、全国的に悪い病気が流行し、毎日多くの人
が亡くなりました。病(やまい)は石神の里まで広がり猛威を
ふるい始めたため、上石神の有力者であった坪井さんは秩
父(埼玉県)34か所、坂東(関東)33か所、西国(九州)33か
所の計百か所の観音さまにお参りをして歩きました。すると、
はやり病は、次第にかげをひそめていき、平和が訪れました。

坪井さんは、百カ所の
霊場に対するお礼として、
百体の石像観音さまを
刻み、上石神の地に観音堂を建てました。

この「百体観音さま」に願いをかけると、何でも願いを聞いて
くれると評判になり、遠方からも参拝者が訪れるそうです。



浜名湖ガーデンパーク

Spring Festa 2025

4月,5月は開園時間延長！ 夕方6:00まで！
夕暮れの光を映して印象を変える花々をゆっくり楽しめます。

天竜文芸 第15号

金 額：500円/冊
問合せ先：天竜区まちづくり推進課
☎：922-0086
(天竜区役所本館2階)



森林ふれあいコンサート
津軽三味線奏者

中村祐太

日時 令和7年6月1日(日)
津軽三味線や和太鼓の演
奏をお楽しみください。

入場無料

会場 龍山森林文化会館ホール

☎ 968-0331
事前に入場整理券をお求めください。
詳しくはこちらへ▶



屋敷を
守りな
街をい
のいろ
あざや
かに

坪井良子

源一
氏物
語君
「平
安時
代の
雅さ
に

松本和子

色花
々が
そつ
と顔
だす
春待
ちて

小林勝子

夕暮
した
り山
道を
往く
鹿の
群

二橋かほる

電線
に荒
れ山
の本
が倒
れ来
て

水野哥那子

清流歌壇

